

第2章 プロジェクトを取り巻く状況

第2章 プロジェクトを取り巻く状況

2-1 プロジェクトの実施体制

本プロジェクトは、教育省が主管庁であり、プロジェクトの実施機関は、教育省傘下の教育メディア庁(EMA: Educational Media Agency)と州教育局(REB: Regional Education Bureau)である。

遠隔地教育放送実施に関する教育省、EMA、REB の関係は図 2-1-1のとおりである。

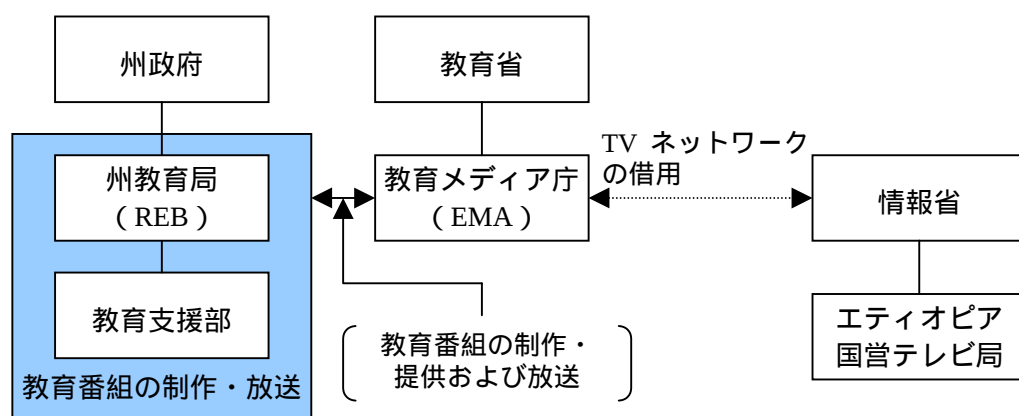


図 2-1-1 遠隔地教育機関の関係

2-1-1 教育省

(1) 組 織

教育省の組織を図 2-1-2に示す。

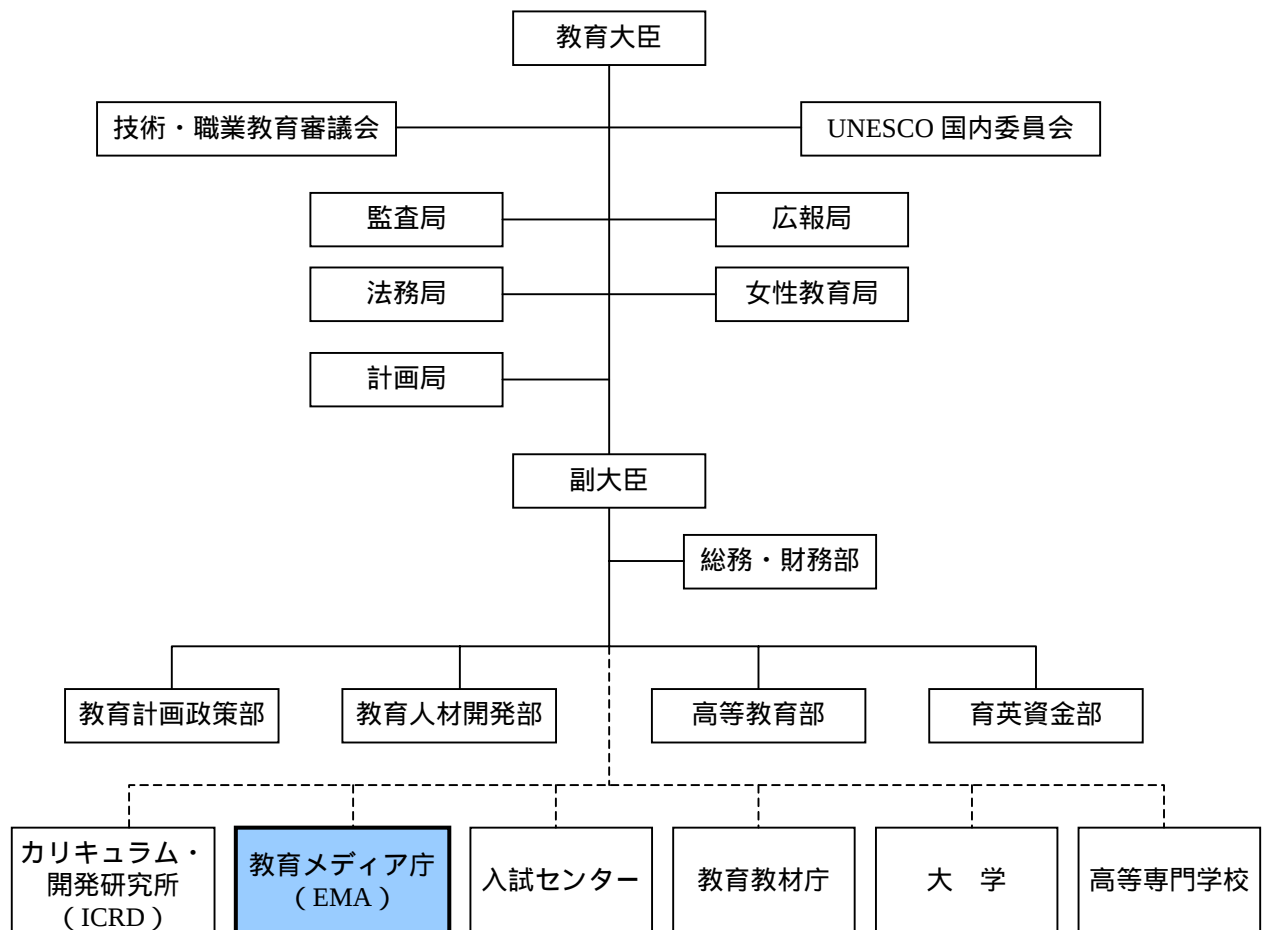


図 2-1-2 教育省 組織図

(2) 財政・予算

エティオピア国の国家予算と教育セクター予算を表 2-1-1 示す。

表 2-1-1 国家予算と教育セクター予算

(単位：百万ブル)

年 度	国家予算	教育セクター	割 合
1995 / 96	9,456.79	1,382.87	14.6%
1996 / 97	10,369.96	1,463.43	14.1%
1997 / 78	12,050.66	1,493.48	12.4%
1998 / 99	16,840.23	2,062.64	12.2%
1999 / 2000	20,426.21	2,303.84	11.3%
2000 / 2001	18,067.41	2,485.11	13.8%

国家予算に対し教育セクター予算は 10%以上の割合を占めており、割当て予算額も毎年増加している。教育セクターへの安定した予算が継続的に割当てられていることが確認できる。

2-1-2 教育メディア庁 (EMA : Educational Media Agency)

EMA は、1953～54 年に USAID の協力によりオーディオビジュアルセンターとして設立され現在に至っている。その主目的は学校や開発機関に写真、フィルム、図表、ポスターなどを供給することであった。

その後、映像に対する関心が徐々に高まり、1964 年に首都アジスアベバでテレビ放送が始まり、教育省も教育サービスのための新しい放送メディアを利用する計画を策定した。1965 年 10 月に情報省の送信およびスタジオ設備を使って首都アジスアベバの高校向けの教育テレビ番組を制作し放送を開始した。現在は情報省傘下のテレビ放送網はエティオピア国全土の主要な町をカバーするまでに拡充されている。

教育ラジオ放送の開始は、1962 年アジスアベバの南方地区ワライタの農業開発活動に利用するためにオランダ政府からラジオ送信設備が援助されたことに始まる。その後、刑務所内での試験的な識字教育プログラムなどが実施されるなど教育を目的とした放送が活発化し、オランダ政府、英国政府、世界銀行の援助で教育ラジオ送信所が建設され、現在、全国 11 ヲ所に送信所が設置されている。その全人口カバレッジは 90%である。

EMA の主要業務は次のとおりである。

支援インフラの提供

遠隔教育用機材の設計

教育番組の制作、評価基準、指針、手引書の作成

教育番組の配布およびコース設定

- カリキュラム処理業務
- 教師の教育訓練
- 非公式教育および地域社会向け教育（性、母子保健、環境、人口、その他を含む）
- 新制度モデル改革の推進

教育メディア研究の実施（組織、視聴者、番組研究）

教育番組モニターおよび評価

情報収集のための資料センター利用者へのサービス

教育メディアの人材確保

- 地方の人材確保のための組織、訓練に携わる指導者の研修訓練
- メディア専門家の研修訓練

(1) 組 織

図 2-1-3および図 2-1-4に EMA の組織および人員体制を示す。

総職員数は 181 名である。

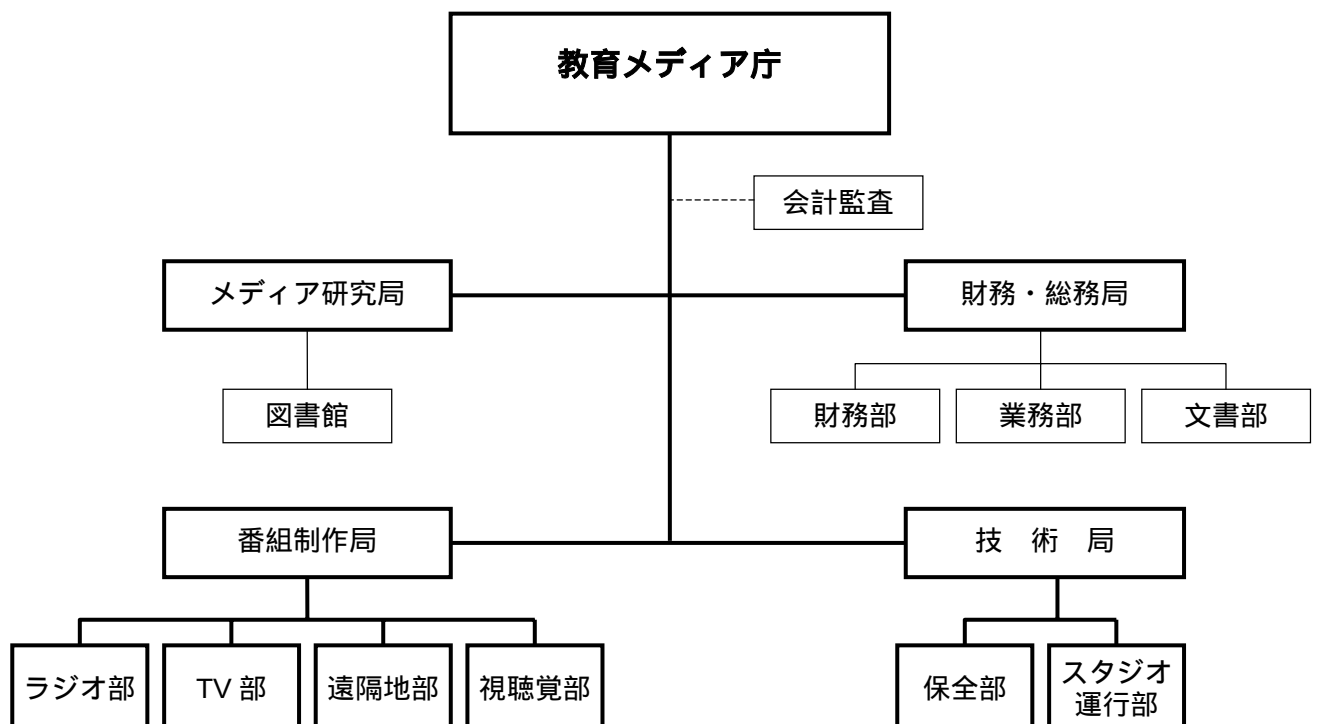


図 2-1-3 EMA の組織図



図 2-1-4 EMA の人員体制

(2) 財政・予算

経常予算と資本予算からなっている。経常予算は日常の活動のための予算で教育省より割当てられる。

また、資本予算は新規プロジェクトなどの開発のための予算で政府予算とドナー機関から割当てられる。

表 2-1-2に EMA の最近 5 年間の経常予算を示す。

表 2-1-2 EMA の年間予算（経常予算）

単位（ブル）

	1997	1998	1999	2000	2001
給 与	1,374,800	1,411,500	1,567,000	1,591,220	2,074,800
活 動 費	870,500	1,338,600	1,275,100	1,600,445	2,766,500
運 営 ・ 維 持 費	432,400	581,400	737,900	825,880	976,500
合 計	2,677,700	3,331,500	3,580,000	4,017,545	5,817,800

(3) 技術水準

前述のとおり EMA 技術局スタッフは局長ほか 28 名（ラジオスタジオ関係：5 名、テレビスタジオ関係：13 名、保守関係：8 名）である。

技術スタッフの教育背景は、次のとおり高水準である。

- ラジオスタジオ関係者
工学士 : 1 名
技術学校卒業者 : 4 名
- テレビスタジオ関係者
工学修士 : 1 名
工学士 : 3 名
技術学校卒業者 : 9 名
- 保守関係者
工学士 : 2 名
技術学校卒業者 : 6 名

また 28 名中 20 名が、ドイツ、イギリス、ロシア等において 2～3 年間の研修を受講している。

1965 年の活動開始以来 35 年に及ぶノウハウの蓄積による技術力も高く技術局スタッフが老朽化した機器を適切なメンテナンスで使いこなしており、運営・保守に問題はない。

(4) 既存施設・機材

EMA の教育番組制作施設はテレビ番組制作スタジオ 1 室、ラジオ番組制作スタジオ 2 室がある。スタジオ建物は、1942 年技術学校として建設され、その後教育訓練学校として使用されていたものを 1966 年に現在の形に改造してスタジオとしたものである。

1) テレビスタジオ機材

テレビスタジオの床面積は、103.4m² (11m × 9.4m)、スタジオ壁面は背景用設備 (青色に塗装された空などの背景を作り出す壁面、これをホリゾンという) はなく、厚手のカーテン生地が布が吊るされているだけである。天井は低く (約 4m) 照明器具を吊り下げる装置は付けられないため、天井にパイプが格子状に設置され、これに照明器具が直接吊るされている。

照明器具は日本の RDS 製 0.5kW、1kW、2kW がそれぞれ 5 ～ 6 台準備されている。

これだけでは高品質の番組制作は困難であろうと思われるが、スタッフの工夫によりこの少ない照明器具で比較的質の良い番組を制作している。

機 材	台数	製造メーカー	製造年	状 況
スタジオフロアー				
白黒カメラ	3 台	フィリップス	1970 年	使用不可能 (補修部品調達不可能)
カラーカメラ	3 台	NEC	1986 年	使用不可能 (補修部品調達不可能)
カラーカメラ	3 台	JVC	1997 年	汎用品 稼動中
スタジオ用ピクチャーモニター	1 台	SONY	不 明	使用不可能 (補修部品調達不可能)
オーディオスピーカー	1 台	不 明	不 明	使用不可能 (補修部品調達不可能)
副調整室				
映像ミキサー	1 台	NEC	1986 年	特性不良 (補修部品調達不可能)
白黒モニター	9 台	中央無線	1996 年	機能低下
照明調光装置	1 台	RDS	1986 年	機能低下
音声ミキサー	1 台	TAMURA	1986 年	機能の一部故障 (補修部品の調達不可能)
オープンリールレコーダー	3 台	REVOX	1986 年	使用不可能 (補修部品の調達不可能)
VTR	3 台	SONY	1991 年	U マチック SP タイプ 機能低下
VTR 室				
VTR	1 台	AMPEX	1986 年	1 インチタイプ 使用不可能 (補修部品の調達不可能)
VTR	2 台	SONY	1991 年	U マチックタイプ 機能低下

機 材	台数	製造メーカー	製造年	状 況
カラーモニター	2 台	SONY	不 明	機能低下
マスターコントロール室				
VTR	1 台	AMPEX	1986 年	1 インチタイプ 使用不可能 (補修部品の調達不可能)
STL 装置	1 台	NEC	1986 年	機能低下 (補修部品の調達不可能)
送出卓	1 台	NEC	1986 年	機能低下 (補修部品の調達不可能)
VTR 編集室				
VTR	2 台	SONY	1980 年	U マチック SP タイプ 使用不可能
カラーモニター	3 台	SONY	不 明	機能低下

2) ラジオスタジオ機材

EMA 本部はラジオ番組制作スタジオ 2 室を持っている。スタジオ 2 室は隣り合わせに配置され、広さはほぼ同じである。

第 1 スタジオ	スタジオフロアー面積	31.85m ² (7.0m × 4.55m)
	副調整室面積	16.24m ² (8.6m × 4.45m)
第 2 スタジオ	スタジオフロアー面積	31.85m ² (7.0m × 4.55m)
	副調整室面積	16.24m ² (3.6m × 4.45m)

スタジオ内は汎用の発砲スチロール板を技術者が加工しスタジオ内の音響特性を良くするような工夫がなされているほか、スタジオの三方に吸音効果を良くするための羅紗布のカーテンが張り巡らされている。

第 1 スタジオは、2000 年に USAID により最新のデジタル技術を取り入れたシステムが整備された。

機 材	台数	製造メーカー	製造年	状 況
第 1 スタジオ				
音声ミキサー	1 台	STUDER	2000 年	稼動中
オープンリールテープレコーダー	3 台	オタリ	1992 年	稼動中
カセットテープレコーダー	1 台	タスカム	2000 年	稼動中
CD プレーヤー (CD-RW)	1 台	タスカム	2000 年	稼動中
CD プレーヤー	1 台	MALANZ	2000 年	稼動中
CD 編集機	1 台	PROTOOL	2000 年	稼動中
音声モニター	1 台	GENELEC	2000 年	稼動中

機 材	台数	製造メーカー	製造年	状 況
マイクロホン	5 台	オーディオテクニカ	2000 年	稼動中
第 2 スタジオ				
音声ミキサー	1 台	HARRIS	1990 年	一部故障、機能低下 (補修部品調達不可能)
オープンリールレコーダー	3 台	オタリ	1990 年	1 台故障中
カセットテープレコーダー	1 台	タスカム	1990 年	汎用品 稼動中
マイクロホン	2 台	SHURE	1990 年	1 台故障

2-1-3 州教育局（REB：Regional Education Bureau）

教育の地方分権化に伴い遠隔地教育も各州教育局の主体性において運営されている。

各州教育局は、初等教育を中心に地方言語による教育番組の制作・放送が義務付けられている。

(1) アファール州教育局

1) 組織・人員

アファール州教育局の組織図を図 2-1-5に示す。遠隔地教育については教育支援部が担当している。

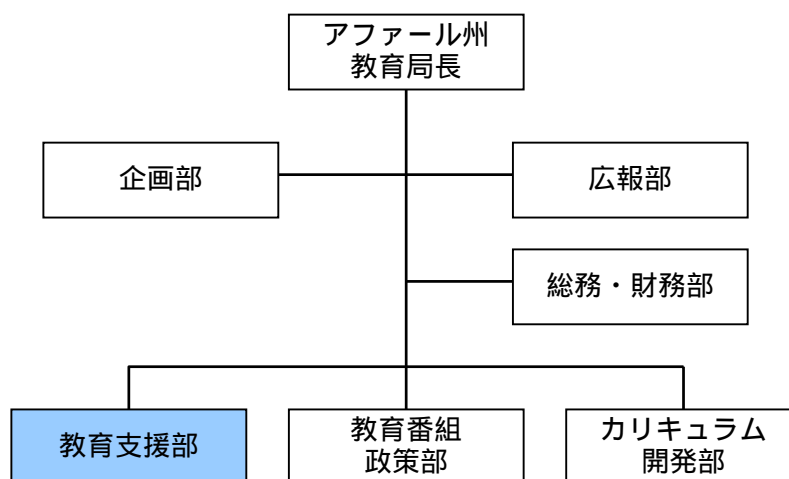


図 2-1-5 アファール州教育局 組織図

部門別の職員数を表 2-1-3に示す。

表 2-1-3 アファール州教育局の要員

部 名	職員数
局長室	7
企画部	6
広報部	4
総務財務部	28
教育支援部	27
教育番組政策部	19
カリキュラム開発・調査研究部	12
合 計	103

教育支援部 27 名の内訳は次のとおりである。

- ラジオ番組制作コーディネーター : 1 名
- プロデューサー : 15 名
- 送信スタジオ技術者 : 3 名
- 資料室職員 : 2 名
- 建築関連職員 : 3 名
- 教材配付職員 : 3 名

2) 財務・予算

アファール州教育の予算を表 2-1-4 に示す。

表 2-1-4 アファール州教育局の年間予算

単位 (ブル)

	1997	1998	1999	2000	2001
年間予算	9,230,000	9,570,000	11,820,000	16,550,000	14,250,000
I. 番組制作関連予算	420,000	425,000	502,000	470,000	541,000
給料	(360,000)	(365,000)	(382,000)	(400,000)	(461,000)
管 理・制作費	(50,000)	(50,000)	(110,000)	(60,000)	(70,000)
運 用・保守費	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)
II. その他	8,810,000	9,145,000	11,318,000	16,080,000	13,709,000

3) 教育番組制作実績

過去 5 年間の番組制作実績は、1999 年に EMA に出張して制作した以外、EMA スタジオの使用許可が得られなかったことおよび出演者の確保ができなかったことにより制作していない。

1999 年

アフール語 (G-4): 28 本

アフール語 (G-5): 28 本

アフール語 (G-6): 28 本

(2) オロミア州教育局

1) 組織・人員

オロミア州教育局の組織を図 2-1-6に示す。

遠隔地教育については遠隔教育部が担当している。

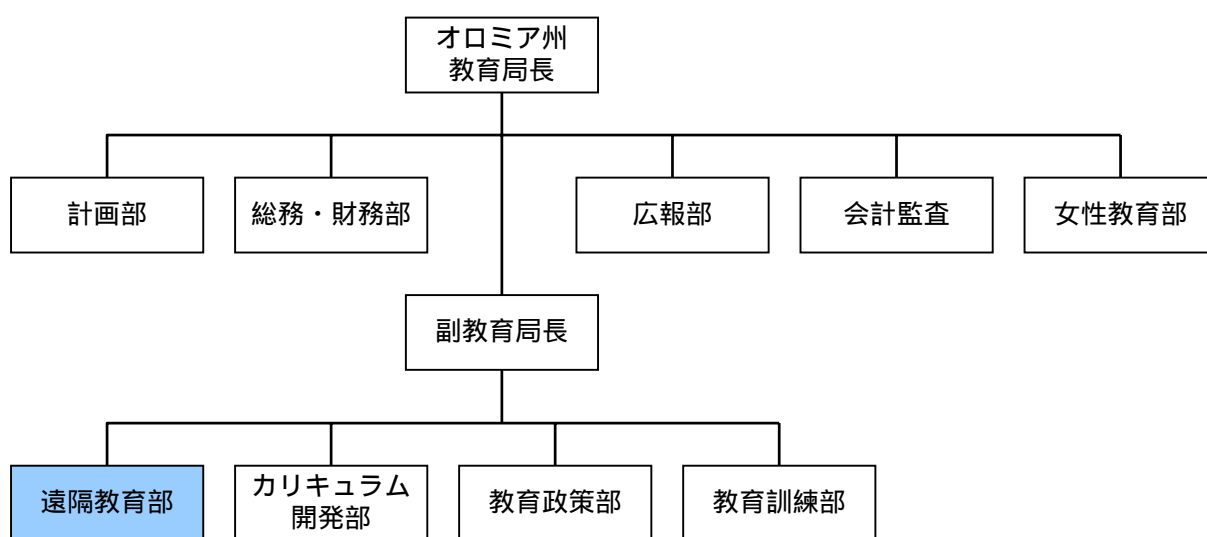


図 2-1-6 オロミア州教育局 組織図

オロミア州にはすでにラジオスタジオ 3 ヲ所、中波送信所 4 ヲ所が整備されており遠隔地教育部要員 65 名の中にはこれらの要員も含まれる。内訳は次のとおりである。

- ・ 部長 : 1 名
- ・ 番組コーディネーター : 6 名
- ・ プロデューサー : 12 名

- 番組制作技術者 : 12 名
- 送信技術者 : 16 名
- 図書室職員 : 6 名
- 建築関連職員 : 5 名
- その他 : 8 名

2) 財務・予算

オロミア州教育局の予算を表 2-1-5に示す。

表 2-1-5 オロミア州教育局 年間予算

(単位：ブル)

	1997	1998	1999	2000	2001
年間予算	302,910,000	326,300,000	355,960,000	393,070,000	414,230,000
I. 番組制作 関連予算	2,229,200	2,230,000	2,420,000	2,520,200	2,525,400
給料	(1,079,200)	(1,080,000)	(1,070,000)	(1,112,800)	(1,118,000)
管理・制作費	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,200,000)	(1,257,400)	(1,257,400)
運用・保守費	(150,000)	(150,050)	(150,000)	(150,000)	(150,000)
II. その他	300,680,800	324,070,000	353,540,000	390,549,800	411,704,600

3) 教育番組制作実績

アレマヤ地区における教育番組制作実績はないが、オロミア州内にある 3 ヲ所の既設スタジオ（ギンビ、センダファ、ゴバ）を使用し、毎年 784 本の番組を制作している。

科目は、オロミア語、英語、社会、理科、地理、物理の 6 科目、使用言語は英語以外はすべてオロミア語である。

(3) SNNP 州教育局

1) 組織・人員

SNNP 州教育局の組織図を図 2-1-7に示す。

総職員数は 160 名である。遠隔地教育は教育支援部が担当している。

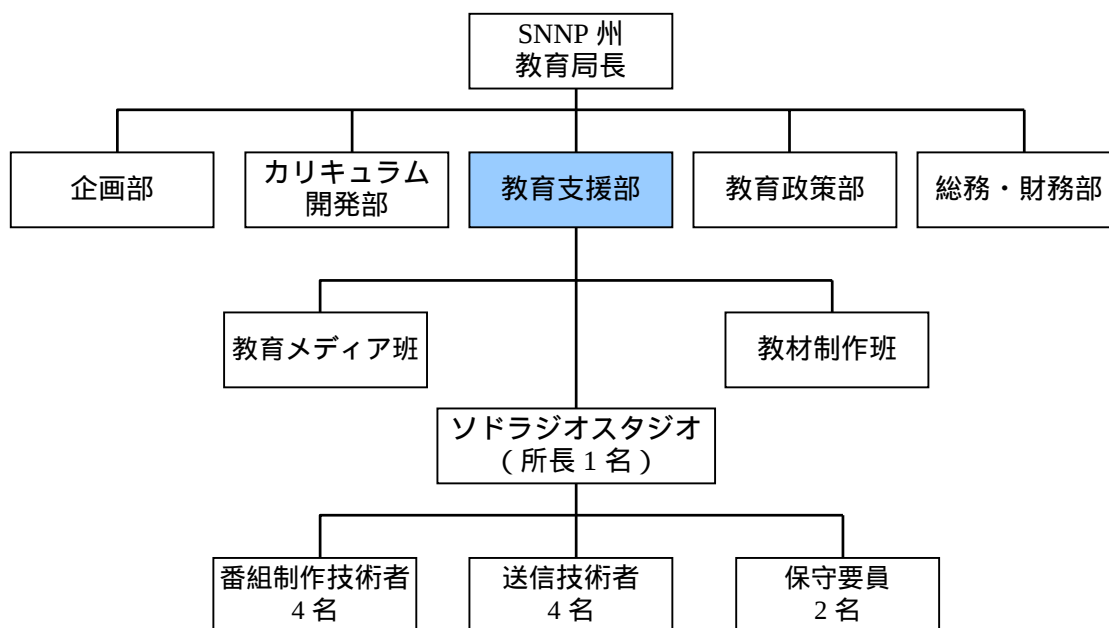


図 2-1-7 SNNP 州教育局組織図

今回のスタジオ予定地は SNNP 州西部のベンチマジゾーンのミザンテフェリ地区である。

SNNP 州教育局ベンチマジゾーン教育部の組織図を図 2-1-8に示す。

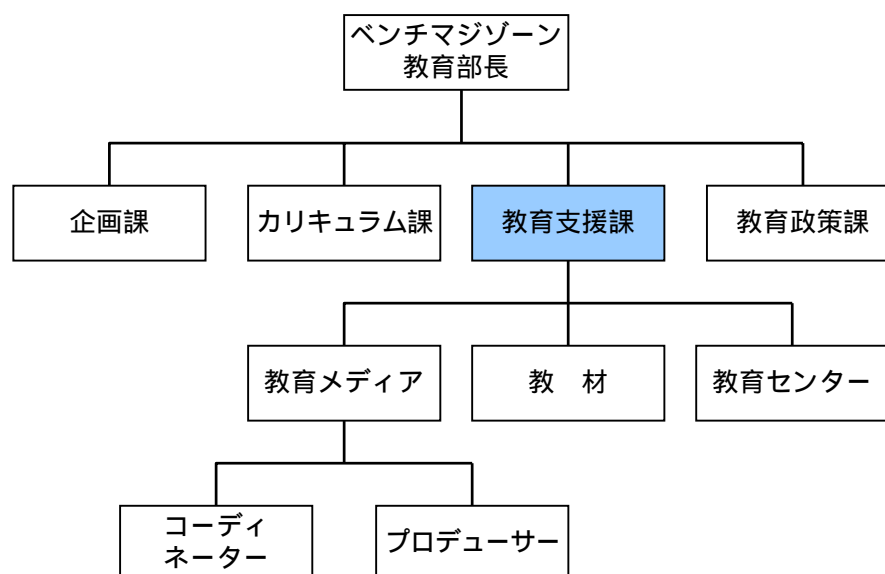


図 2-1-8 ベンチマジゾーン教育部 組織図

スタジオ整備後は、教育支援課が遠隔地教育を担当する予定である。

教育支援課にはすでにコーディネーター 1 名、プロデューサー 5 名が配属されてい

るが、番組制作技術者は確保されていない。

2) 財務・予算

表 2-1-6に SNNP 教育局およびベンチマジゾーン教育部の予算を示す。

表 2-1-6 SNNP 教育局およびベンチマジソン教育部 年間予算

(単位：ブル)

	1997	1998	1999	2000	2001
SNNP 州教育予算	164,430,000	174,970,000	178,030,000	205,220,000	211,670,000
ベンチマジゾーン 教育予算	6,528,505	7,344,000	7,623,000	7,780,000	7,982,000

3) 教育番組制作実績

ベンチマジゾーン教育部での番組制作の実績はない。

しかし、1998 年にソド地区にスタジオが建設されてから SNNP 州内で番組制作が可能となった。

ソドスタジオでは、9 言語を使用して年間 300 本から 500 本程度の教育番組を制作している。

1998 年 (504 本を制作)

生活科 (G-2) : 28 本 × 8 言語 = 224 本

生活科 (G-1) : 28 本 × 8 言語 = 224 本

Siltigna 語 (G-2) : 28 本

Siltigna 語 (G-1) : 28 本

1999 年 (308 本を制作)

生活科 (G-3) : 28 本 × 8 言語 = 224 本

Siltigna 語 (G-3) : 28 本

社会 (G-7) : 28 本 (英語)

生物 (G-7) : 28 本 (英語)

2000 年 (308 本を制作)

生活科 (G-4) : 28 本 × 8 言語 = 224 本

Siltigna 語 (G-4) : 28 本

社会 (G-8) : 28 本 (英語)

生物 (G-8) : 28 本 (英語)

(4) ガンベラ州教育局

1) 組織・人員

ガンベラ州教育局の組織図を図 2-1-9に示す。

総職員数は 88 名である。遠隔地教育については教育教材支援部下の教育メディアチームが担当している。

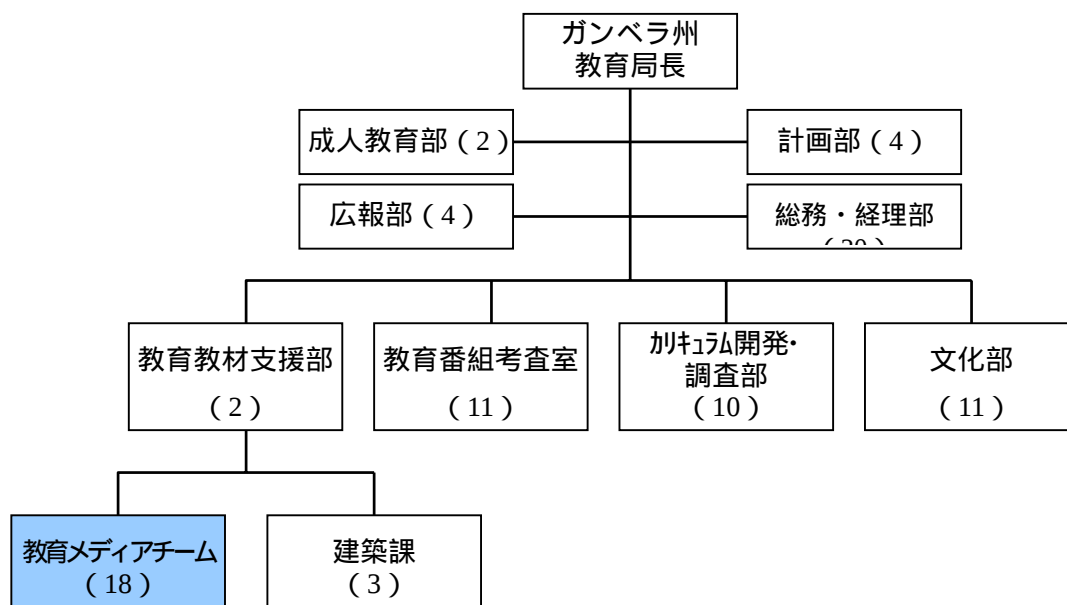


図 2-1-9 ガンベラ州教育局 組織図

教育メディアチーム 18 名の内訳は次のとおりである。

- ・ ラジオ番組制作コーディネーター : 1 名
- ・ プロデューサー : 8 名
- ・ 番組制作技術者 : 4 名
- ・ 送信スタジオ技術者 : 2 名
- ・ 編集者 : 2 名
- ・ 資料室職員 : 1 名

2) 財政・予算

表 2-1-7にガンベラ州教育局の予算を示す。

表 2-1-7 ガンベラ州教育局 年間予算表

単位（ブル）

	1997	1998	1999	2000	2001
年間総予算	3,000,000	3,200,000	3,400,000	3,500,000	3,672,063
I. 教育番組 制作関連予算	299,900	236,750	269,840	275,110	—
給与 (脚本家を含む)	(141,860)	(144,700)	(152,300)	(155,340)	—
管理・制作費	(78,530)	(82,450)	(107,540)	(109,770)	—
運用・保守費	(9,600)	(9,600)	(10,000)	(10,000)	—
II. その他	2,770,100	2,963,250	3,130,160	3,224,890	—

3) 教育番組制作実績

過去 5 年間では 1997 年から 3 年連続で EMA に出張し番組を制作した実績がある。

1997 年（168 本制作）

アニュア語（G-1）： 28 本
 アニュア語（G-5）： 28 本
 化学（G-1）： 28 本
 化学（G-5）： 28 本（アニュア語）
 社会（G-1）： 28 本（アニュア語）
 社会（G-5）： 28 本（アニュア語）

1998 年（168 本制作）

アニュア語（G-2）： 28 本
 化学（G-2）： 28 本（アニュア語）
 社会（G-2）： 28 本（アニュア語）
 アニュア語（G-6）： 28 本
 化学（G-6）： 28 本（アニュア語）
 社会（G-6）： 28 本（アニュア語）

1999 年（168 本制作）

アニュア語（G-3）： 28 本
 化学（G-3）： 28 本（アニュア語）
 社会（G-3）： 28 本（アニュア語）
 アニュア語（G-2）： 28 本

化学（G-2）： 28 本（アニユア語）

社会（G-2）： 28 本（アニユア語）

(5) ハラール州教育局

1) 組織・人員

ハラール州教育局の組織を図 2-1-10に示す。

総職員数は 71 名である。遠隔地教育については教育支援部が担当している。

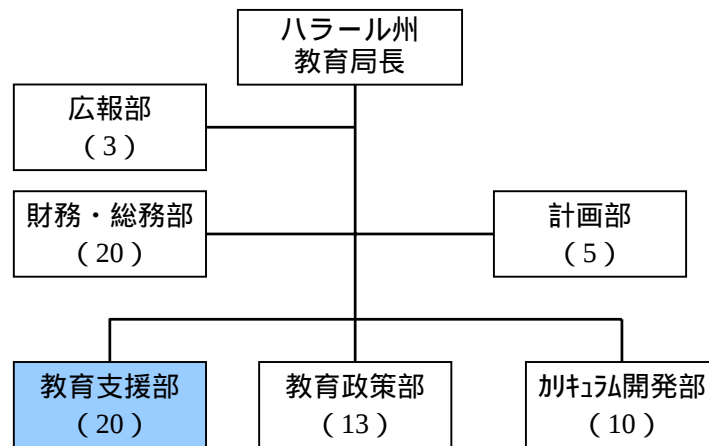


図 2-1-10 ハラール州教育局 組織図

教育支援部 20 名の内訳は次のとおりである。

- ・ 部長： 1 名
- ・ 番組コーディネーター： 3 名
- ・ プロデューサー： 6 名
- ・ 編集者： 2 名
- ・ 番組制作技術者： 3 名
- ・ 送信スタジオ技術者： 3 名
- ・ 図書室職員： 2 名

2) 財政・予算

表 2-1-8 にハラール州教育局の予算を示す。

表 2-1-8 ハラール州教育局 年間予算

(単位：ブル)

	1997	1998	1999	2000	2001
年間予算	8,990,000	8,770,000	11,920,000	12,650,000	13,710,000
I. 教育番組 制作関連予算	273,000	331,000	299,000	365,000	398,000
給与	(170,000)	(173,000)	(176,000)	(174,000)	(180,000)
管理・制作費	(48,000)	(103,000)	(55,000)	(123,000)	(150,000)
運用・保守費	(55,000)	(55,000)	(68,000)	(68,000)	(68,000)
II. その他	8,717,000	8,439,000	11,621,000	12,285,000	13,312,000

3) 教育番組制作実績

過去 5 年間では 1998 年および 2000 年に EMA に出張し教育番組を制作した実績がある。

1998 年 (140 本を制作)

ハラール語 (G-1) : 28 本

ハラール語 (G-5) : 28 本

生活科 (G-1) : 28 本 (ハラール語)

化学 (G-5) : 28 本 (ハラール語)

社会 (G-5) : 28 本 (ハラール語)

2000 年 (168 本を制作)

ハラール語 (G-2) : 28 本

ハラール語 (G-6) : 28 本

ハラール語 (G-8) : 28 本

生活科 (G-2) : 28 本 (ハラール語)

社会 (G-6) : 28 本 (ハラール語)

社会 (G-8) : 28 本 (ハラール語)

(6) アジスアベバ教育局

1) 組織・人員

アジスアベバ教育局の組織図を図 2-1-11 に示す。

遠隔地教育は教育マスメディア部が担当している。

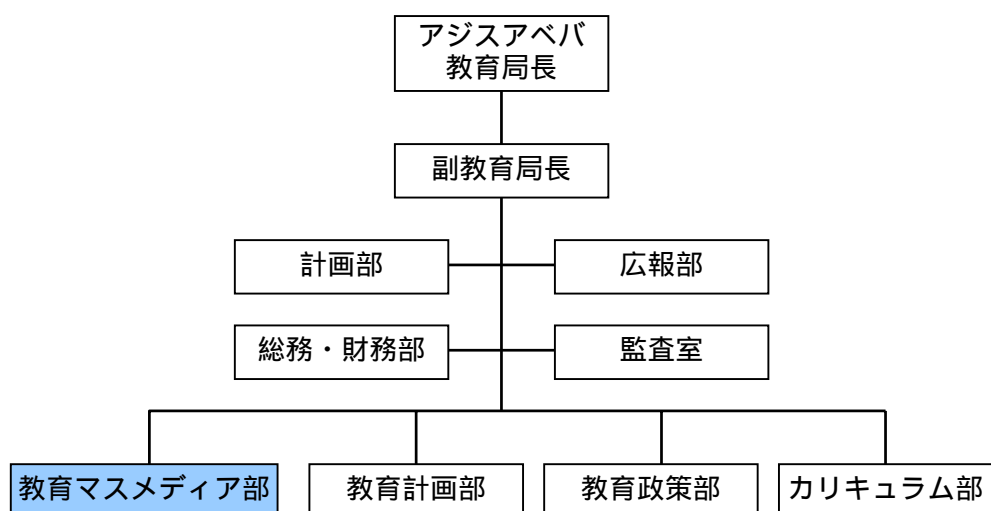


図 2-1-11 アジスアベバ教育局 組織図

教育マスメディア部 36 名の内訳は次のとおりである。

- 部長 : 1 名
- 遠隔地教育コーディネーター : 4 名
- 調査・研究員 : 1 名
- プロデューサー : 20 名
- 編集者 : 3 名
- 番組制作技術者 : 6 名
- テープ管理者 : 1 名

2) 財政・予算

表 2-1-9 にアジスアベバ教育局の予算を示す。

表 2-1-9 アジスアベバ教育局 年間予算

(単位：ブル)

	1997	1998	1999	2000	2001
年間総予算	71,400,000	75,140,000	90,010,000	97,320,000	107,910,000
I. 教育番組制作 関連予算	583,400	685,000	819,600	997,400	1,128,300
給与	(346,500)	(354,800)	(378,200)	(408,200)	(429,600)
管理・制作費	(226,900)	(318,200)	(426,400)	(574,200)	(628,700)
運用・保守費	(10,000)	(12,000)	(15,000)	(15,000)	(70,000)
II. その他	70,816,600	74,455,000	89,190,400	96,322,600	106,781,700

3) 教育番組制作実績

過去 5 年間の教育番組実績は次のとおりである。

EMA のスタジオ敷地内に事務所があるために EMA とスタジオ使用スケジュール調整が可能であり、他州教育局に比べ番組制作本数が多い。

使用言語はアムハラ語である。

1997 年（168 本を制作）

アムハラ語（G-1）：28 本

アムハラ語（G-5）：28 本

社会（G-1）：28 本

社会（G-5）：28 本

理科（G-1）：28 本

理科（G-5）：28 本

1998 年（168 本を制作）

アムハラ語（G-2）：28 本

アムハラ語（G-6）：28 本

社会（G-2）：28 本

社会（G-6）：28 本

理科（G-2）：28 本

理科（G-6）：28 本

1999 年（140 本を制作）

アムハラ語（G-3）：28 本

アムハラ語（G-7）：28 本

英語（G-3）：28 本

英語（G-4）：28 本

理科（G-3）：28 本

2000 年（168 本を制作）

アムハラ語（G-4）：28 本

アムハラ語（G-7）：28 本

アムハラ語（G-8）：28 本

社会（G-4）：28 本

社会（G-7）：28 本

(7) ディレダワ州教育局

1) 組織・人員

ディレダワ州教育局の組織図を図 2-1-12に示す。

総職員数は 74 名である。遠隔地教育は教育支援部が担当している。

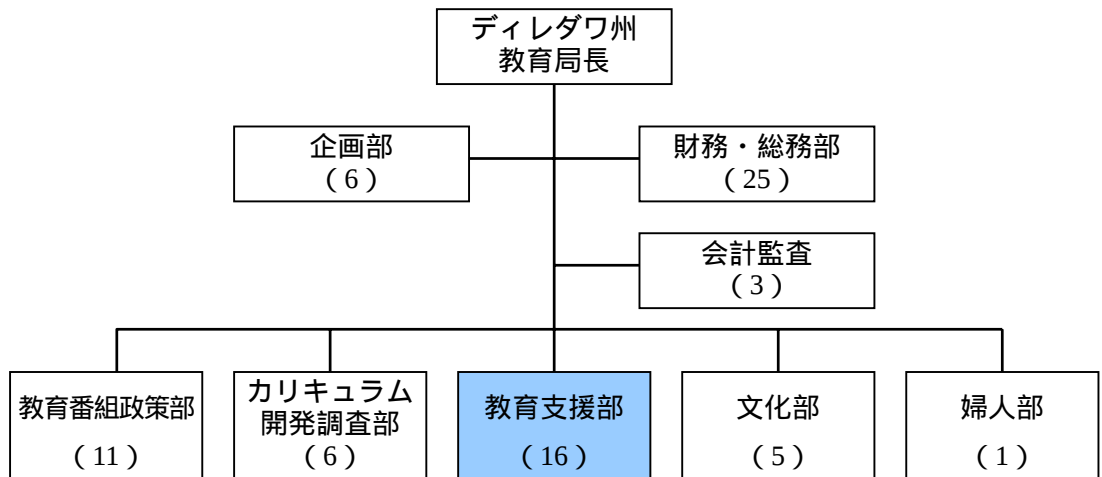


図 2-1-12 ディレダワ州教育局 組織図

教育支援部 16 名の内訳は次のとおりである。

- ・ プロデューサー：5 名
- ・ 制作技術者：3 名
- ・ 脚本家：3 名
- ・ 編集者：2 名
- ・ コーディネーター：2 名
- ・ 図書館員：1 名

2) 財政・予算

ディレダワ州教育局の予算を表 2-1-10に示す。

表 2-1-10 ディレダワ州教育局 年間予算

(単位：ブル)

	1997	1998	1999	2000	2001
年間総予算	6,190,000	6,500,000	7,480,000	8,550,000	8,650,000
I. 教育番組制作 関連予算	460,000	435,800	454,900	531,700	578,400
給与	(278,000)	(305,800)	(314,900)	(330,700)	(343,900)
管理・制作費	(150,000)	(98,000)	(98,000)	(159,000)	(192,500)
運用・保守費	(32,000)	(32,000)	(42,000)	(42,000)	(42,000)
II. その他	5,730,000	6,064,200	7,025,100	8,018,300	8,071,600

3) 教育番組制作実績

過去 5 年間では 2000 年に EMA に出張し教育番組を制作した実績がある。

2000 年 (168 本)

化学 (G-3) : 28 本 (オロモ語)

化学 (G-4) : 28 本 (オロモ語)

化学 (G-5) : 28 本 (オロモ語)

化学 (G-6) : 28 本 (オロモ語)

社会 (G-5) : 28 本 (オロモ語)

社会 (G-6) : 28 本 (オロモ語)

(8) ティグレイ州教育局

1) 組織・人員

ティグレイ州教育局の組織を図 2-1-13 に示す。総職員数は 170 名である。遠隔地教育については教育メディア部が担当している。

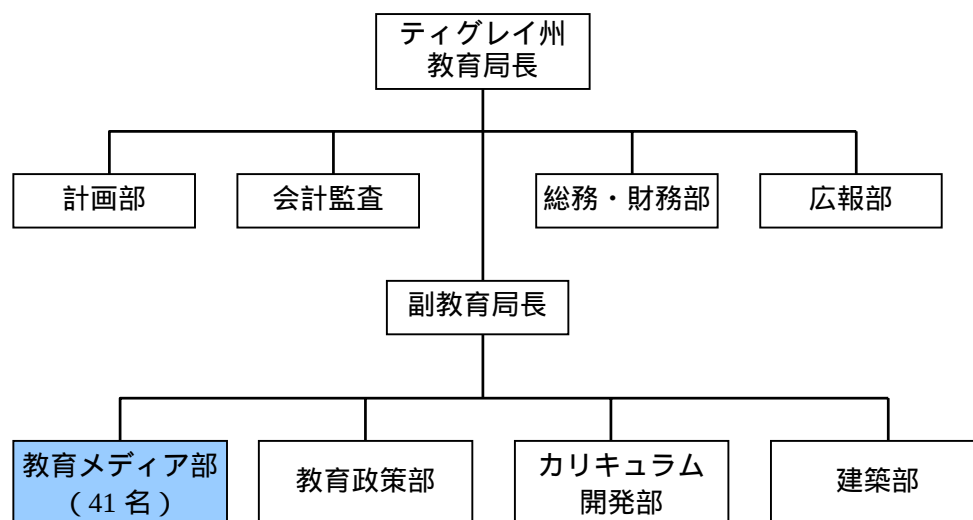


図 2-1-13 ティグレイ州教育局 組織図

教育メディア部 41 名の内訳は、次のとおりである。

- 部長 : 1 名
- ラジオ番組コーディネーター : 3 名
- ラジオ番組プロデューサー : 14 名
- ラジオ番組制作技術者 : 6 名
- ラジオ送信所技術者 : 6 名
- 研修員 : 2 名
- 調査・研究員 : 3 名
- 図書室職員 : 4 名

既存のラジオスタジオと中波送信所を有しておりラジオ教育番組制作・放送に関する要員は十分に確保されている。

しかし、本プロジェクトの対象となるテレビ教育番組関連要員は確保されていない。

2) 財政・予算

ティグレイ州教育局の予算を表 2-1-11に示す。

なお、教育番組制作関連予算はすべてラジオ教育番組制作・放送関連の費用である。

表 2-1-11 ティグレイ州教育局 年間予算

(単位：ブル)

	1997	1998	1999	2000	2001
年間総予算	50,510,000	54,990,000	60,840,000	69,690,000	72,730,000
I. 教育番組制作 関連予算(ラジオ)	759,000	856,000	774,000	729,500	764,000
給与	(366,000)	(368,000)	(388,000)	(389,500)	(424,000)
管理・制作費	(293,000)	(388,000)	(286,000)	(300,000)	(300,000)
運用・保守費	(100,000)	(100,000)	(100,000)	(40,000)	(40,000)
II. その他	49,751,000	54,134,000	60,066,000	68,960,500	71,966,000

3) 教育番組制作実績

過去にテレビ教育番組を制作した実績はない。

ラジオ教育番組は既存ラジオスタジオを使用し毎年 168 本の番組を制作している。

科目はティグレイ語、化学、生活、理科、社会等で言語はティグレイ語を使用している。

2-2 プロジェクトサイトおよび周辺の状況

2-2-1 関連インフラの整備状況

(1) 道 路

エチオピア国の道路は常時通行の可能な全天候道路と、乾季のみに通行できる乾季道路に大別される。地方の村落では乾季道路のみが通っていることも多く、雨季には孤立することとなる。エチオピア国は内陸部が 2,000～3,000m の台地状の高原であり、その中を大地溝帯および河川の河岸段丘が縦横に走っているため、道路は概して険しい斜面を有している。

現在主要道路は整備されつつあり、また地方をつなぐ支線道路も建設することにより、農民の市場への素早いアクセスの確保、飢餓発生時の食料の迅速な運搬を目指している。ドナー諸国も、道路の整備がエチオピア国の発展に不可欠と認識しており、1997 年には EU、世界銀行、アフリカ開発銀行、日本、ドイツ、イタリア、オランダなどが援助し、政府は道路セクター開発計画（Road Sector Development Program）1997～2002 を実行中である。2002 年までに幹線道路 73%、支線道路の 43%、その他道路の 68%の復興・整備を目標としている。

総 延 長	26,916km
アスファルト	3,806km
砂 利 道	11,703km
そ の 他	11,407km

出典：Ethiopian Road Authority

本プロジェクトサイトまでの機材輸送道路状況は「3-2-4-6 機材調達計画」を参照。

(2) 鉄 道

エチオピア国の鉄道は、国際鉄道であるエチオピア・ジブチ鉄道がある。同鉄道はアジスアベバとジブチ間の 781km を運行している。フランスの援助により建設されたが、路線および車輛の老朽化が著しく運行ダイヤも安定していないため、本プロジェクトで調達する機材の輸送手段にはならない。

(3) 航 空

国土が山がちであるエチオピア国では航空運輸が盛んであり、アジスアベバ、ディレダワおよびバハルダールの国際空港ならびに 37 の国内空港がある。本プロジェクトサイトにおいてもディレダワ、ガンベラ、ミザンテフェリ、メケレの 4 ヲ所に空港がある。

(4) 電 力

エチオピア国はブルー・ナイル川やオモ川流域を中心として、豊富な水力発電資源を有している。

発電容量においては、水力発電が 90%弱、残りは火力発電が占めているが、火力発電量は総発電量の 3%にも満たない。

	1998 / 99
発 電 所 の 数	51 カ所
総 従 業 員 数	8,353 人
発 電 容 量	421,501kW
発 電 量	1,653,088,000kW / h

- 送電線

230kV ライン 1,572km

132kV ライン 2,279km

66kV ライン 1,742km

45kV ライン 476km

15kV ライン 8,767km

各プロジェクトサイトへの電力供給はすでに電力線が引き込まれているサイトもしくはサイト近辺まで送電線が整備されており特に支障はない。

(5) 水 道

エチオピア国における 2000 年の全国給水普及率は 28.6%(都市部 87.8%、農村部 17%) で、サブサハラ諸国平均の 45%と比較しても極めて低い。

このため、地方給水を管轄する上下水道公社 (WSSA : Water Supply and Sewerage Authority) は、農村部の給水普及率を 22 ~ 25%に引き上げることが目標に、地下水開発計画・給水計画の策定、井戸掘削事業団 (WWDE : Water Well Drilling Enterprise) と契約しての井戸掘削、ポンプ設置、既存井戸のメンテナンス等を進めている

2-2-2 自然条件

(1) 海拔高・気温・降水量

アフール州（北東部低地）	海拔 400m の砂漠地帯であり、年間降雨量 400mm～800mm の乾燥気候である。年間平均気温は 35 であり、最高気温は 45 を超える世界的に熱い地域である。
ガンベラ州（西部中高地） ディレダワ州（東部中高地） SNNP 州（南部中高地）	海拔 1,000～1,750m までの中高地であり、年間最低気温が 18 度以上となる。年間降雨量は 1,500mm～2,500mm と最も降雨量の多い地域である。
アジスアベバ（首都） ハラール州（東部高原地帯） ティグレイ州（北部高原地帯）	海拔 1,750m 以上の高地で、年間最低気温が 18 以下で年間降雨量は約 1,000mm 前後の温暖湿潤気候となっている。

参考として高原地帯（アジスアベバ）と低地（アフール州アサイタ）の年間気温と降雨量を示す。

・ 高原地帯（アジスアベバ）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
平均気温（℃）	15	16	18	18	18	16	15	15	16	15	14	13	15.8
降雨量（mm）	25	30	50	70	90	120	205	280	160	40	10	10	90.8

・ 低地（アフール州アサイタ）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
平均気温（℃）	33	36	34	32	30	30	26	28	30	32	33	33	31.4
降雨量（mm）	0	0	0	0.5	4.0	6.0	40	30	12	6.0	0.5	0	8.2

(2) 地震

エチオピア国は地震の少ない地形となっており過去 100 年間にマグニチュード 5 以上の地震は記録されていない。

2-2-3 その他

各プロジェクトサイトは、各州教育局所有の敷地利用で、森林伐採・湖沼埋め立てなど自然環境を破壊するような工事はない。

本プロジェクトの実施にあたっては、環境への影響はない。